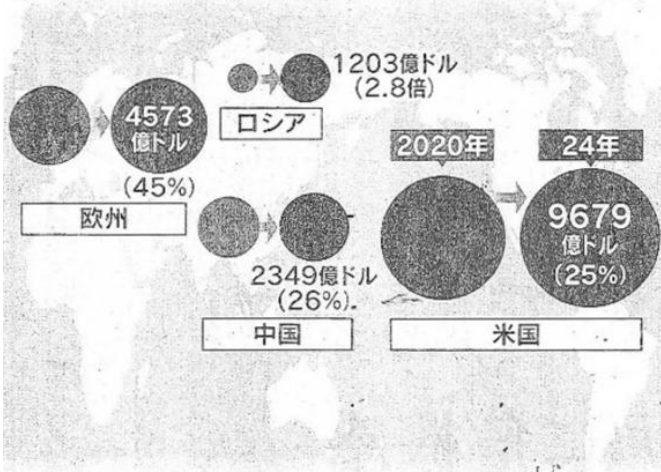


- 02/10・米、金融保護局の機能停止 事実上閉鎖 規制強化の流れ反転
- 02/11・トランプ関税、世界脅かす 鉄鋼・アルミ 25% 近く相互関税 経済下押しリスク
来月 12 日 日本製も対象 車・半導体・医薬でも検討
・中国、報復関税を発動 石炭など最大 15% 対米輸入の 8.5%
- 02/12・BYD、初の首位 昨年の中国車販売 独 VW 超え 民営が国有・外資合併超え
・トランプ氏、人質解放延期受け 停戦合意破棄警告、ハマ스에揺さぶり
ガザ住民「移住」構想強調 周辺アラブ諸国にも圧力 ヨルダン国王に受け入れ迫る
- 02/13・ウクライナ巡りヘグゼス米国防長官 14 年前の国境「非現実的」目標
NATO 加盟も認められず
・FRB 議長「利下げ急がず」議会証言、堅調経済を強調
トランプ氏「政策金利下げるべき」
・欧州、自衛で軍事費急増 昨年 16% 増、ロシア脅威背景 英研究所調べ <1>
米の関与低下にらむ 独、28% 増で最大
・米消費者物価 3.0% 上昇 1 月、4 ヶ月連続で加速 円安加速 一時 154 円台
- 02/14・ウクライナ停戦交渉開始 米ロ首脳が合意 ゼレンスキー氏 米ロ先行「不快」
トランプ氏「軍事費半減、中ロと交渉」 ロシア G7 復帰も望む
ウクライナに譲歩圧力 失地回復は難しく「いつかロシア領になるかも」
・ホンダ・日産統合破談 条件巡り溝 EV 連携は継続 中国勢・テスラの背遠のく
・米、相互関税を指示 トランプ氏 相手国と同水準 <2>
日本も調査対象 規制や商慣習、消費税「非関税障壁高い」
- 02/15・米「製造業第一」の全方位関税 「不公平な取引」列挙 <3>
対 EU やインド→高い税率問題視 対インドネシア→障壁是正求める
・モディ氏、対立回避を優先 米印首脳会談 (13 日、ワシントン)
貿易黒字削減へ協議 石油・武器の輸入増約束
- 02/16・バンス氏「欧州の民主主義後退」SNS 規制をやり玉 G7 結束に試練 <4>
・対ロシア「欧州軍創設を」 ゼレンスキー氏 安保の自立訴え
・車関税「4 月 2 日ごろ」トランプ氏、詳細は明かさず 日本は国別最大 <5>
- 02/17・G7 外相、ロシア非難せず 共同声明 停戦交渉に配慮か
・ウクライナ停戦交渉、米政権内で定まらぬ和平像 欧州参加の有無混乱 <6>
・ガザ代替案、米に提示へ サウジ・ヨルダンなど「移住せず安全と統治保証」
- 02/18・世界株、時価増額再び最大 市場、関税より業績に関心 日本株、弱さ際立つ
・習氏、馬雲氏らと座談会 テック企業に支援拡大表明
・ウクライナ・米 交渉難航 レアアース供給巡り ゼレンスキー氏、署名見送り
・米ロ高官、停戦巡り初会合 ウクライナ招かず

- 02/19・中国、ウクライナ停戦交渉「欧州も関与を」 米ロ接近警戒 復興需要狙い
・貿易赤字 2.7 兆円 1 月、春節で対中輸出減る
- 02/20・「ゼレンスキー氏は独裁者」 トランプ氏、ロシアに同調 欧州首脳は批判
・米国防費、年 8%削減 今後 5 年、国防長官が指示 現地報道
・米財務長官、G20 欠席へ 米紙報道 国際協調の軽視鮮明
- 02/21・消費者物価 3.2%上昇 1 月 3 ヶ月連続伸び拡大 コメ 7 割プラス <7>
- 02/22・米中、財務長官と副首相がオンライン協議 関税や麻薬に懸念
・EU、財政ルール緩和検討 防衛費増なら赤字拡大容認 米に頼らぬ安保強化
・NY 株 748 ドル安、円一時 148 円台 米景気不安、市場揺らす <8>
米景況感、2 月大幅低下
- 02/23・米軍制服組トップら更迭 トランプ氏、権威強化狙う 東アジア安保に影響も
- 02/24・米政府 7 万人早期退職へ 節約予算「2 割還付」検討 <9>
マスク氏主導 歳出抑制、目標額遠く
- 02/25・排出削減目標 9 割未提出 パリ協定締結国 けん引役不在 米離脱・欧州混乱
・極右躍進「欧州最後の砦も」 独 AfD、反移民の受け皿に <10>
強まる内向き志向 経済・治安への不満拡大 トランプ氏「米国にとって素晴らしい日」
・アップル、米で 75 兆円投資 テキサスに新工場 生産移管進める
・「辞任」示唆 対ロ融和にクギ ゼレンスキー氏、NATO 加盟条件
・USAID 実質閉鎖へ 海外人道支援 米政権、1600 人削減開始
・中国の婚姻数 10 年で半分以下 若年層、経済負担重く
- 02/26・米消費者信頼感指数が悪化 2 月、8 ヶ月ぶり低水準 関税懸念強まる
・アップル、関税回避を優先 米で 75 兆円投資計画 iPhone は移転せず
・米ロ接近、国際秩序に亀裂 ウクライナ侵略、非難決議に反対 米、領土保全を軽視
- 02/27・ウクライナ安保「欧州主導」 トランプ氏、資源協定署名へ
・韓国出生率、昨年 0.75 に 9 年ぶり上昇 なお世界最低水準
- 02/28・出生数最小 72 万人 昨年 社会保障、現役世代に負担 <11>
・中国に関税 10%上乗せ トランプ氏、SNS で表明 <12>
対メキシコ・カナダ「3 月 4 日に」 「EU に関税 25%、近く公表」
・ビットコイン 1 ヶ月で 2 割安 トランプ効果に陰り 「関税戦争」で景気悪化懸念
・インド、英と FTA 交渉再開 トランプ関税警戒、輸出拡大へ 保護主義脱却が課題
・「米英で貿易協定締結」 首脳会談、トランプ氏表明 英、トランプ氏国賓招待
・「マスク氏嫌なら追い出すぞ」 米大統領、初閣議で支持迫る
・G20 財務相会議 議長総括、保護主義に警戒 共同声明採択できず
・日経平均、一時 1100 円安 米株安・追加関税に懸念

<1>

世界の軍事費は右肩上がり



(注)カッコ内は20年比増加率、出所はIISS

<2>

米国が訴える主な日本の貿易障壁

自動車	独自の安全基準や試験、通信システムの周波数割り当て
コメ	高度に規制された輸入や流通システム
豚肉	低価格品の競争を防ぐため輸入品に段階的に関税を課す仕組み
牛肉	国際的に厳しいBSE（牛海綿状脳症）リスクのある危険部位の除去基準
食品添加物	米国産品に不利に働く可能性があるポストハーベスト農薬の表示義務付け

(出所) USTR

<3>

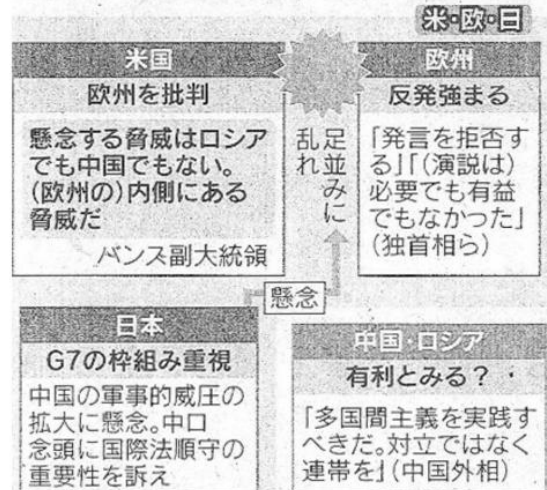
米国と貿易相手国の関税率

品目	米国	相手国
自動車	2.5%	EU 10%
オートバイ	2.4%	インド 100%
エタノール	2.5%	ブラジル 18%

(出所) 米ホワイトハウス

<4>

米欧の対立はG7の結束を揺るがしている



<5>

日本の対米輸出は自動車がいちばん多い



主な日本メーカーの対米輸出 (2024年)

メーカー	台数	自社の米販売に占める割合
トヨタ	53万台	23%
マツダ*	約23万台	50%超

(注) *はS&Pグローバルモビリティ調べ

<6>

ウクライナ停戦交渉をめぐる米政権の見解は揺れている

欧州の参加

- トランプ大統領: ウクライナやロシア以外の国も関わるだろう(13日)
- ケロッグ特使: 欧州も交渉のテーブルに着くか問われ、それはない(15日)

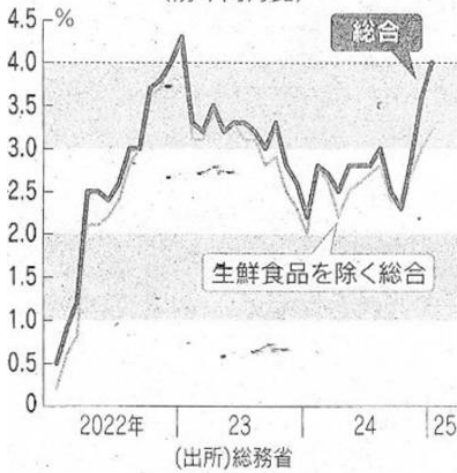
米軍の関与

- ヘグセス国防長官: (平和維持部隊として)米軍が展開されることはない(12日)
- バンス副大統領: 口の対応次第で、派遣はテーブルの上にあると米紙に(14日)。後にSNSで否定

(写真はロイター)

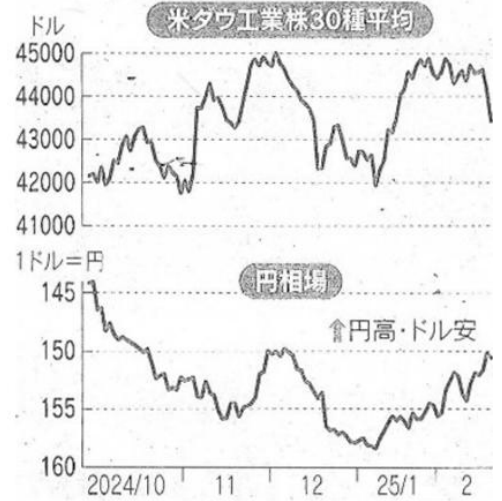
<7>

1月の総合は2年ぶりに4%超
(前年同月比)



<8>

米株安と円高が進んだ



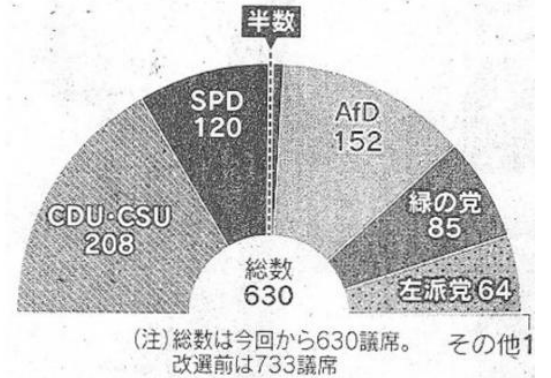
<9>

政府効率化省(DOGE)の動き

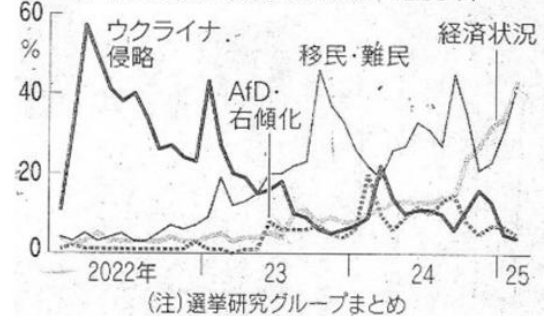
政府職員のリストラ 支出削減	早期退職に7.5万人応募、解雇も 省庁の採用はDOGEと協議後1人につき最低4人の退職必要に 各省庁でDEI(多様性・公平性・包摂性)の推進部署廃止 途上国で人道支援担う米国際開発局(USAID)の機能停止 教育省や医療研究でも契約削減	<p>ロイター</p>
データ収集	機密性の高い米財務省の政府支出システムにアクセス 公的医療保険を所管するメディケア・メディケイド・サービスセンターや教育省のシステムにもアクセス	

<10>

政党別の獲得議席数(暫定の開票結果に基づく)



ウクライナ侵略への関心は移民問題で急低下
(ドイツ国民が重視する問題の回答比率)



<11>

出生を死亡が上回り、自然減は拡大



<12>

米国の輸入額に占める割合

